

調査の概要

1 調査の目的

市民の市政に対する意識、意見、要望等を統計的手法によつて的確に把握し、市政運営の有効な資料とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 相模原市全域
- (2) 調査対象 18歳以上の相模原市在住者
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの等間隔系統抽出
- (5) 調査方法 郵送調査法（郵送配付 - 郵送回収、はがきによる督促1回）
- (6) 調査期間 平成29年5月22日～6月9日
- (7) 調査機関 株式会社地域環境計画
- (8) 有効回収数（率） 1,460（48.7%）

3 調査の内容

平成29年度 市政に関する世論調査は、7の項目について調査した。

調査項目	設問番号
1 まちづくりについて	問1～問3 - 3
2 市民協働について	問4～問9
3 建物と地震について	問10～問13 - 1
4 災害情報の確認について	問14～問16 - 1
5 食育について	問17～問21 - 2
6 レジャー・レクリエーションについて	問22～問24
7 広報紙について	問25～問30
基本属性（年齢、居住地等）	F1～F8

4 区別

地域	地区（対象住所）
1 緑区	橋本地区、大沢地区、城山地区、津久井地区、相模湖地区、藤野地区
2 中央区	小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、光が丘地区、大野北地区、田名地区、上溝地区
3 南区	大野中地区、大野南地区、麻溝地区、新磯地区、相模台地区、相武台地区、東林地区

5 区別・地区別回収状況



区	地区名	標本数	回収数	回収率
緑区	橋本	301	148	49.2%
	大沢	134	54	40.3%
	城山	98	54	55.1%
	津久井	111	50	45.0%
	相模湖	36	18	50.0%
	藤野	36	20	55.6%
	緑区計	716	344	48.0%
中央区	小山	87	34	39.1%
	清新	126	49	38.9%
	横山	62	34	54.8%
	中央	153	128	83.7%
	星が丘	72	30	41.7%
	光が丘	116	60	51.7%
	大野北	247	100	40.5%
	田名	127	55	43.3%
	上溝	141	61	43.3%
	中央区計	1,131	551	48.7%
南区	大野中	264	107	40.5%
	大野南	311	169	54.3%
	麻溝	71	40	56.3%
	新磯	56	29	51.8%
	相模台	195	80	41.0%
	相武台	87	35	40.2%
	東林	169	84	49.7%
	南区計	1,153	544	47.2%
地区不明		0	21	-
合計		3,000	1,460	48.7%

6 集計結果を見る上での注意事項

- (1) 表、グラフのnまたは、()内の数字は、回答者数のことであり、回答はすべてnを基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 集計結果の表やグラフは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- (3) 回答の比率は、その質問の回答者数を基数として算出した。複数回答の設問は100%を超える場合がある。
- (4) 回答数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (5) 今回の調査結果による標本誤差は下記のとおりである。例えば、回答者数が1,460である回答が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.62以内(47.38%~52.62%)とみることができる。

< 標準誤差の表 >

回答比率 回答者数	10 % または 90%程度	20 % または 80%程度	30 % または 70%程度	40 % または 60%程度	50%程度
1,460	±1.57	±2.09	±2.40	±2.56	±2.62

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{\text{回答比率} (1 - \text{回答比率})}{\text{回答者数}}}$$

標本誤差とは、母集団からある数の標本を選ぶとき、選ぶ組み合わせによって統計量がどの程度ばらつくかを、すべての組み合わせについての標準偏差で表したものをいう。